



2024年1月発行
社会福祉法人 ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行責任者 白江浩環
編集佐藤環
〒982-8544

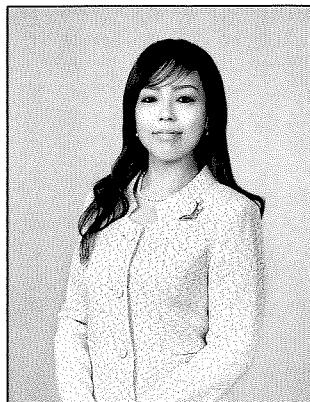
仙台市太白区西多賀4丁目19-1
TEL 022(243)1300

<http://www.arinomama.or.jp>
E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月 第3種郵便物認可（毎週4回月・火・木・金曜日発行）
2024年1月12日発行 SSKO通巻11542号

2024年を迎えて

ありのまま自立大賞選考委員長 瑞子女王殿下



ありのまま自立大賞の実行委員長を務めさせて頂いております 寛仁親王の次女の瑞子でございます。昨年、この会報である『自立』に、父が亡くなつて10年が経つたこと・父が亡くなつて10年が経つたことを機に、会報の執筆を、私が理事長からお願いされたことについて冒頭で書かせて頂いたのですが、もうまた一年が経つたのかと思うと、驚きと困惑の気持ちでいっぱいです。勿論、この文書を書いている時期 자체が早いというのも理由の一つかもしれません。

私は、昨年の10月でついに40歳を迎えました。まさかこの立場に40歳になつても残つているものとは、若かりし頃の私は夢に

思つておりませんでしたので、なかなか複雑な気分と言いますか、遠い目をしたくなつたりもしましたし、父に「ようちやん、お前は何をやつているんだ?」と言われそだなあと思つたりもいたしましたが、この年齢まで、この立場にいたからこそ、出会うとの出来た方々や色々な経験、様々な場所にも伺えたという事実もありますので、昔の私には、長くいることは悪いことだけではないかも知れないよ?と言つてあげたいなと思っています。特に、私の生きている環境というのは特殊で、理解もされにくくところがあるのが現実としてあるなかで、引いて見るだけではなく、興味を示してくれて・知ろうとして下さる方々、その上新しい世界・価値観を持つてゐる方々など様々な出会いが、とてもあつたように思う一年でしたので、有り難いことだなと感謝の気持ちでいっぱいでした。とはいへ、父が何と言ふかは分かりませんね。

さて、会報を読んで下さつて、みなさまは、昨年どのようない年を過ごされて、今年どのようない年になさりたいと思われていらっしゃいますか? 2023年、悔いの残らないような時間をお過ごしになられましたか? 笑顔になれるようなことは、少しでもありましたでしょうか? みなさまそれぞれに、有意義だったなと思える時間が多いため良いのですが。まだ飛躍的とまではいってはいないと思いますが、全体的に前を向いて過ごせるような日々は、年々戻つてきているとは思いますので、みなさん希望は捨てるこどなごとに、自分のペースで、何より自分を大切にしながら、日々を過ごしていくて頂けたらと思つてあります。みなさまの笑顔が、昨年よりも多くみられますように。



新年のご挨拶

宮城県知事 村井 嘉浩



明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

新年のご挨拶 仙台市長 郡 和子



明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症となり、様々なイベントや行事が再開されるなど、3年余からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症法上の位置付けが5類感染症となり、様々なイベントや行事が再開されるなど、3年余からお祈り申し上げます。

社会福祉法人ありのまま舎におかれましては、重い障害や難病を抱える方々に対して、長年にわたり手厚い支援を提供して

1976年2月25日 第3種郵便物認可（毎週4回月・火・木・金曜日発行）

りにわたるコロナ禍によって停滞していた県民生活や社会・経済活動が再び動き始めました。また、記録的な暑さの中で開催された全国高等学校野球選手権大会では仙台育英学園高等学校が2年連続決勝進出という快挙を成し遂げ、秋には台湾の大手半導体企業が新たに国内法人を設立し、県内に進出することが決定するなど、明るい話題もありました。

社会福祉法人ありのまま舎におかれましては、重い障害や難病を抱える方々に対して、長年にわたり手厚い支援を提供して

これまで。入居者や利用者お一人お一人の思いに寄り添いながら、ニーズに沿ったサービスの提供に努めていただいていることに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

さて、県では、障害福祉施策の基本方針を定めた「みやぎ障害者プラン」や「宮城県障害福祉計画」に基づき、障害を理由とする差別の解消に向けた普及啓発や相談支援などの取組を進めるとともに、グループホームや就労支援事業所など地域において自立した生活を送るための施設の整備をはじめとした、障害福祉サービスの提供体制の整

向けて発信することができます。ありのまま舎の皆様におかれましては、「ありのまま生活福祉講座」と「ありのまま自立大賞」を通常の形式・規模で開催されるなど、障害のある方々に大きく述べ尽力いただいておりますことによります。心から敬意を表するものでございます。

長引くコロナ禍が徐々に落ち着きを見せ、少しずつではありますが、街に以前の賑わいが戻りつつある中で、仙台市におきましても、昨年は、G7仙台科学技術大臣会合が開催され、世界各国からおいでいただいた皆さんに仙台・東北の魅力を世界に

備を計画的に推進しております。また、医療的ケア児等相談支援センターにおいて、医療的ケア児やその家族を総合的に支援するほか、発達障害者支援センター等による発達障害児への支援などに取り組んでいます。

今後とも、貴法人をはじめ、市町村や関係団体等と連携しながら、障害の有無にかかわらず、誰もが生きがいを実感しながらともに充実した生活を送ることができますので、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

今年は、「仙台市障害者保健福祉計画」及び「仙台市障害者保健福

 Garbo
Design Space Office

クライアントの思い大切に…自由設計の
有限会社ガルボ空間工房 一級建築士事務所

●建築設計・監理（住宅・店舗・リフォーム・オフィス・施設等）

●インテリア小物販売

TEL : 022-307-5650
FAX : 022-307-5652

〒982-0816 仙台市太白区山田本町 9-28
URL : <http://garbo-s.com>



新年のご挨拶

亘理町長 山田 周伸



明けましておめでとうございます。

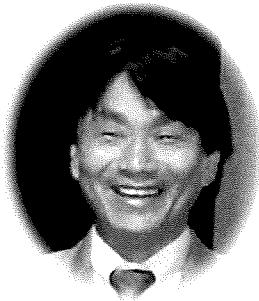
年頭にあたり、皆様には輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

社会福祉法人ありのまま舎におかれましては、昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、全国的に社会経済活動が回復しつつある中におかれましても、重症化リスクの高い施設に入居されている方や、施設に通所される方への一層の感染対策にご尽力いただきながら、支援いただいていることに、心より感謝申しあげます。

新年のご挨拶

理事長

白江 浩



新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は2019年から続いたCOVID-19が国内では感染症分類の一類相当から五類となり、世界的にもひとつの山を越えました。しかし、重症化リスクが高く、生命に直結する方ばかり

けが「5類」に移行し、全国的に社会経済活動が回復しつつある中におかれましても、重症化リスクの高い施設に入居されている方や、施設に通所されてい

る方への一層の感染対策にご尽力いただきながら、支援いただいていることに、心より感謝申しあげます。

「亘理ありのまま舎」におけるま

までは、地域共生社会の実現に向け、住み慣れた地域で、様々な課題を抱えた障がいのある方の相談を包括的に受け止め、誰

もが安心して生活できる地域福祉の推進を担う場として、大き

な役割を担つていただいていることについて、重ねて感謝申し上げます。

本町では「第5次亘理町総合発展計画」に掲げる施策を基本としながら、『また来たくなるまち・ずっと住みたくなるまち』を基本理念に、まちづくりに取り組んでおりますとともに、「亘理町障がい者プラン」では、みんなのことが分かりあえること、いきいきと自分らしく暮らせるることを目指して『みんな えがお』の基本理念のもと、障がいのある方が安心して暮らすことができる地域づくりに取り組んでおります。

また、令和6年度からの「亘理町障がい者プラン」策定へ向け、貴法

員会の委員として参加いただき、専門的な意見により、いろいろな角度からご意見をいただきながら、議論を重ねているところであります。本計画の推進により、新型コロナウイルスパンデミック後的新しい生活様式をふまえ、一人ひとりに寄り添った福祉サービスが提供できるような支援体

制の構築を目指してまいりたいと考えておりますので、引き続きありのまま舎の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年も皆様にとってご健勝で、幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。

が暮らす生活施設では、状況はむしろ深刻になつたとも言えます。当舎の方針として、当初の一ヶ月を除き、面会も外出も可能でしたが、来訪される方はそれなりに健康管理や当方における感染対策にご理解を頂いていたので、来訪への不安はあつても対策は有効に機能していましたと思います。その証しに、五類に移行して四か月後にクラスターが発生しました。しかし、五類に移行して四か月後に入居者に感染者は昨年までひとりも出ませんでした。しかしながら、世界的におこる変困難な時期でしたが、入居者の理解と職員の的確な対応で

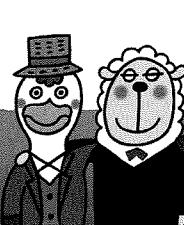
きました。今年はテマはそのことに尽きるところです。生命や健康を守りつつ、自己実現のための活動を再開、発展させる必要があります。今年のテーマはそのことにはじめます。今年の最大の願いではないかと思います。無論平和は常に最大の願いですが、例年になく、とても身近に感じます。経済大国でなくとも平和で住みよい日本の価値と影響力を発信していくことの大切さを感じています。今年もよろしくお願い致します。

Total assist 超保険

生損保
一体型保険

超保険なら! あなたにムダなくモレなく超ぴったり。

損害保険のお引受けは東京海上日動火災保険(株)
生命保険のお引受けは東京海上日動あんしん生命保険(株)になります。



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動 仙台支店 仙台中央支社

宮城県仙台市青葉区中央2-8-16 仙台東京海上日動ビルディング9階 TEL 022-8460
超保険カスタマーセンター 0120-323-523 www.tokiomarine-nichido.co.jp

To Be a Good Company

新年のご挨拶
ホームケア仙台ありのまま舍リビングセンター
ホーム長 佐藤 環

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年も入居者、スタッフがコロナやインフルエンザに感染する方ではなく、日頃より感染症対策に深いご理解を頂き心より感謝申し上げます。

入居者7名が暮らす当グループホームでは一昨年に比べると自立度の高い方が生活をしておられ、全体の支援内容にも変化がありました。一人暮らしを検討されている方もおられ、ご本人の意思を尊重しながら相談対応を行う機会が増えたと思います。様々な不安や悩みを抱え、急激に体調を崩される場面もあり、スタッフが統一した対応でどのように対応していくか検討を深めることができ、今後もケアの中で活かしていきたいと思います。

昨年、ホームの近くを流れる三河川が洪水浸水想定区域に指定されました。今年は自然災害のBCP（業務継続計画）を見直し、避難先である太白ありのまま舎と連携し、実際に入居者の方と避難するシミュレーションを行いたいと考えています。様々な災害への対応をしつかり検討していきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申します。

新年のご挨拶
サポートケア仙台ありのまま舍
管理者 齋藤栄樹

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

ありのまま舎の各事業所をご利用いただきている入居者の計画相談支援を中心に支援に携わさせていただいております。昨年は、ご本人を中心にながら家族を含めた基本相談への対応も少數ながら見られ、ご家族、ご親戚をたどりながら電話連絡をしながら私たちでできる対応を考えながら丁寧に向き合つてきました。

計画相談支援は、書面にご本人の希望の実現をしつかりと描いていくものですが、土台には基本相談があつてそのプロセスを大事にしていくべきものとの思いを深めることができます。様々な出来事や本人、家族の思いをしっかりとお聞かせいただきながら今年も向き合つていきたいと思います。

仙台市や太白区の自立支援協議会の動きも出てきていく中で、積極的に足を運ばせていただき、昨年の状況もあり、今年も地域とのつながりや情報を得ていくための動きを大事にしていきたく思います。

今年もご支援の程どうぞよろしくお願い申します。

新年のご挨拶
難病ホスピスケア
太白ありのまま舍
施設長補佐 太白ありのまま舍
智 賴岸

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は多くの皆様方からのご支援、指導を賜り深く感謝申し上げます。昨年は太白ありのまま舎においてコロナウイルスのクラスターが発生し改めて感染症の怖さを直面に感じました。そんな年ではありました。茂庭台夏祭りの花火打上げとバザーの出店、何年かぶりの花の膳様のお寿司のご奉仕を頂戴し、徐々にではありますが、以前の活動に戻りつつある年でもあります。入居者の重度化・重症化への対応等に加え、入居者の変化により40名定員への移行もあり、より生活や活動を支えられるよう一步踏み出せた形ともなりました。

コロナ・インフルエンザも含めた感染症や、昨今の自然災害への備えなどへの対応にも気を引き締めながら、その命や安全を守りつつ、引き続き入居者・利用者に寄り添いながら、その活動や生活の充実を図ることができます。できるよう皆で試行錯誤しながら一つ一つ取り組んでいきたいと思います。又さらに職員も充実した生活が送れるよう一緒に歩んで行ければと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申します。

新年のご挨拶
チャイルドケア仙台ありのまま舍保育園
園長 春日麻里

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

少し大きくなつていく子どもたちの姿を、一日一日大切に見守り、健やかに楽しく過ごしていきたいと思います。本年もよろしくお願ひいたします。

新年が始まり、おうちが恋しい様子はありますが、元気いっぱいの子どもたち。楽しい思い出が沢山できたようで、興奮気味にお話をしてくれました。その表情やお話に、こちらも嬉しくなります。かわいいです。

おうちではサンタさんからのプレゼントで沢山遊んだようですね。保育園でもサンタさんからのプレゼントが流行中。

誰かのお世話をしたいお年頃の一歳のお友だちは、お医者さんごっこセシットに夢中で、ぬいぐるみや保育者の治療に忙しくしています。二歳のお友だちは様々な場所を走る車やタブレット型の玩具を取り合いながら樂しくしています。

新しい玩具や遊びに触れる子どもたちの表情はとても輝いています。そんな表情がたくさん見られるようなワクワクする保育に今年も努めていきたいと思ひます。

新年のご挨拶
サポートケア名取ありのまま舍
センター長 熊谷経子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

サポートケア名取ありのまま舎は今年度、開所10年を迎えた。当事業所開所のきっかけは東日本大震災の被災地である名取市の方々に何かできることはないかという思いからでした。しかし、こうして節目の年を迎えることができたのは、当事業所および当法人を応援してくれている皆様の支えがあったからと感じており、この場を借りて御礼を申し上げます。

事業所開所当初はまだ市内には障害福祉サービス事業所は少なく、一覧表にしてA4用紙一枚で収まる程度でしたが、この間、その必要性の高まりから年々事業所の数が増え、今は80か所近くとなりました。また昨年度は市内に基幹相談支援センターが開所したほか、来年度には児童発達支援センターも開所予定です。

社会資源は充足されていきますが、それを繋ぐのはコーディネーターである私たち相談支援事業所ですので、その役割をしっかりと担えるよう今後も努めていきたいと思います。

本年もご指導の程、宜しくお願い致します。

りへの取り組みとなります。が、障害のある方にとっても住みよい街のために何が課題で、どのような配慮や取り組みが必要なのかについて部会を構成して議論を深めながら多くの方々と議論を交わしながらできることがあります。

今年1年もできること、必要な事柄にしつかりと取り組んで参ります。

また、亘理町では障害者計画等策定委員会において地域の実情にあつた施策の基本方針と障害福祉サービスの提供等について協議しております。計画に沿って障害のある方が住み慣れた地域で生活が送れるよう、その体制づくりを多職種連携により実現できるような年になればと思いまますので、「指導」「鞭撻頂きます」という引き続き宜しくお願ひ申し上げます。

したが、難病の入居者の方々も生活されている中で、感染対策を継続しながらの運営は今後も継続していくきます。

6年目を迎えて、地域生活支援拠点としての役割も更に充実させしていくべき中で、人材確保が進まず、厳しい状況が続いています。スタッフ間で連携を更に高め、知恵を絞りながら求められる役割を果たすべく歩んでいく1年としたいと考えております。

私たちのためにビデオメツセージを頂き、さとう宗幸さんは、「め、皆様に大きな拍手が寄せられていました。

その後のクリスマス会では、ありのまま舍に関する「○×ゲーム」を行い、ホームの隠れた秘密をクイズ形式で行い、なるほどと思う内容も多く、時々笑もあり楽しい時間を持つことができました。食事会では焼きたてのピザとお菓子を召し上がる

新年を迎え、謹んで挨拶を申上げます。

新型コロナが5類に移行したことで、相談者の方々とのお付き合いも通常の対面での形にほぼ戻ることができ、訪問での支援を中心多くの方様とお顔を合わせながら色々なことを一緒に考えたり、目標に向けての動きと一緒にできたことが何よりだつたと実感しております。コロナ禍前にできていた当たり前のお付き合いの形が、多少の配慮の継続は必要としてもできるとのありがたさを感じております。

行政・支援機関等との間では岩沼市、亘理町とも地域自立支援協議会が活発な取り組みをしており、当事業所も積極的に参画しております。広い意味での地域つくりへの取り組みとなりますが、障

町のみならず全国的にもその課題として共通した状況が生じておられます。さらに、児童を取り巻く環境や社会・文化的な背景の影響もあり複雑化しているのが実情です。当センターでは多職種連携による支援をより一層効果的に取り組めるよう不登校児支援の体制づくりや研修を企画するなどを検討して行ければと思います。

介護（アクトイヴィティ）のサービスを軸に運営を継続してきました。また百理町の方を対象とした緊急ショートステイ事業1床受け入れも継続して行つてきました。

ホームケア仙台で「クリスマス会」を行いました。昨年までは感染症対策のため食事会を設けていませんでしたが、今年は昼食の時間に合わせ、感染症対策を行った上で食事会を企画しました。

り久しぶりに入居の方々と共に食事会を行うことができました。

一年を振り返り、ホームではコロナやインフルエンザに感染した方はなく過ごすことができたのが、おひとりが注意しただけでは感染症を防ぐことは難しく、おられるすべての皆様のご理解と協力で日々が守られたことに心より感謝したいことをお話させていただきました。

久しぶりに楽しい声や笑顔が溢れ楽しいクリスマス会になりました。
(佐藤環)



入居者の皆さんと楽しいクリスマス会になりました。

新年のご挨拶

新年のご挨拶
サポートケア豆理ありのまま舍
基幹相談支援センターラ
シノウ一長
菊也
里

新年のご挨拶

【西多賀エリア】

12月26日(火)